



研究・研修報告書

令和4年10月24日

小牧市議会議長 様

会派名 無会派
代表者氏名 稲垣 守

研究・研修の結果を報告します。

記

1 参加議員 稲垣 守

2 日程

令和4年10月19日（水）13：00～16：50、
10月20日（木）9：00～11：00

3 研究・研修名

第17回全国市議会議長会研究フォーラム

4 主催者

全国市議会議長会

5 会場

ホクト文化ホール

6 受講の目的

デジタルが開く地方議会の未来

7 主な内容

基調講演「コロナ後の地域経済」

パネルディスカッション「地方議会のデジタル化の現状・課題と将来
の可能性」

課題討議「地方議会のデジタル化の取組報告」

8 所感・提言・課題等

別紙

～長野市議会議員による木遣り～

主催者挨拶 全国市議会議長会会長 清水富雄（横浜市会議長）
開催地代表挨拶 長野市議会議長 寺沢さゆり
来賓挨拶 長野市長 荻原健司

基調講演 コロナ後の地域経済

株式会社 経営共創基盤（IGPI）グループ会長

株式会社 日本共創プラットフォーム(JPiX)代表取締役社長

富山和彦

・ 主な内容

平成 30 年間に進んだ破壊的イノベーションの波はコロナでさらに拡大・加速しグローバル企業の成長が止まる。東京はワースト 10、成長しているのは山形、秋田。

デジタルトランスフォーメーションが拡張加速する中のビジネスチャンスの存在があるが人手が足りない現状。

日本経済復興の本丸はローカル経済圏、中堅・中小企業経済圏

「分ける化」「見える化」から CX カスタマーエクスペリエンス・DX デジタルトランスフォーメーションそして IX インターネットエクステンションへ。

DX 活用など新たな取り組みによる生産性向上：空中戦力（クラウド）も活用し人手不足・高賃金時代を逆手にとってさらなる成長目指す。最近はクラウドは安価。

自動運転関連技術の紹介。AI を活用した空港滑走路点検。

ローカル経済圏でなぜ当たり前のことができていないのか。

根本課題：新陳代謝と流動性を前提とした包摂的な経済社会システムをどう構築するか！？

パネルディスカッション

「地方議会のデジタル化の現状・課題と将来の可能性」

コーディネーター 毎日新聞社論説委員 人羅 格

パネリスト 早稲田大学電子政府・自治体研究所教授 岩崎尚子

東京大学先端科学技術研究センター教授 牧原 出

明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科教授 湯浅壘道

長野市議会議長 寺沢さゆり

毎日新聞社論説委員 人羅 格

市議会のデジタル化の取組状況（タブレット端末の復旧状況）

早稲田大学電子政府・自治体研究所教授 岩崎尚子

地方議会のデジタル化の現状・課題と将来の可能性

問題意識 2040年デジタル日本の社会構造・課題

少子・超高齢・人口減少社会（65歳以上の高齢化率35%超え）

東京大学先端科学技術研究センター教授 牧原 出

地方議会のデジタル化：審議のオンライン化とデジタル化への対応

「出席」要件と技術革新

明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科教授 湯浅壘道

議会のデジタル化

議会のアナログとデジタル。議会のデジタル化の意義

デジタル化の検討に当たって。セキュリティ。個人情報保護。

長野市議会議長 寺沢さゆり

長野市議会の状況 ～デジタル化への取り組み～

デジタル化の推進。情報の共有。市民の周知

兵庫県伊丹市長 藤原保幸

清酒発祥の地・伊丹 酒と文化が薫るまち

次期開催地挨拶

福岡県北九州市市議会

課題討議 「地方議会のデジタル化の取組報告」

コーディネーター

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授

谷口尚子

パネリスト 事例報告者 取手市議会議長 金澤克仁

可児市議会議長 板津博之

西脇市議会議長 林 晴信

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授

谷口尚子

議会活動のデジタル化。デジタル化時代における住民との関係
構築。議会のオープン化

取手市議会議長 金澤克仁

I C T活用 いつでも・どこでも議会の権能を維持向上

可児市議会議長 板津博之

可児市議会の取り組みについて

西脇市議会議長 林 晴信

議会D Xへの取組

閉会挨拶

篠原藤雄副会長（岩見沢市議会議長）

所感・提言・課題等

新型コロナウイルス下で進んだデジタル化をテーマにパネル討論などを行い、市民との対話を充実させるためにもデジタル化を加速させるべきと思います。デジタル化の目的は「あらゆる災害時にも議会機能を十分に発揮し、住民とのコミュニケーションを確保すること」にあり。オンラインによる柔軟な議会開催などで、議員のなり手の幅も広がり市民の政治に関心をもってもらおう。そのためにも、今後の必要な鍵はデジタルに詳しい人材の育成。議会間の情報共有や連携が課題と大会を通じて感じました。

